

国産在来種クロマルハナバチ

アグリ・トップ[®]クロマルDX

デラックス

www.agrisect.com



商品外観

アグリ・トップ[®]クロマルDX巢内
(出荷前の様子)

商品規格

女王バチ1頭/働きバチ50頭以上
雄バチ10頭以下の生存と
卵・幼虫・蛹多数を目視で確認
装着蜜量: 約2.5kg
商品外寸 (cm) : 幅31.5×奥行25.3×高さ25.8

本商品の北海道向け販売は行っておりません

施設栽培の頼もしい働き手。 多様な作物の授粉に大活躍!

- アグリ・トップ[®]クロマルDXは、弊社独自の技術で日本原産種のクロマルハナバチを国内自社工場で増殖した商品です。
- クロマルハナバチは比較的体が大きく、一度に多くの花粉を運びます。
- 訪花活動は休み休み、丁寧に行います。
- 雄バチが早い時期に出巣することがありますが、働きバチに影響はありません。

※クロマルハナバチは腹部の先端がオレンジ色です。雌バチ(女王バチと働きバチ)の体毛は黒色、雄バチの体毛は黄色で、胸部と腹部の中央に黒い帯があります。

- 利用可能期間: 約6週

※飼養環境によって変わります。

- 1箱当たりの飼養施設面積の目安
大玉トマト(施設): 約300坪
ミニトマト(施設): 約250坪
ナス(施設): 100~200坪
イチゴ(施設): 約300坪

※栽植密度や栽培方法、品種、季節などによって変わります。

クロマルハナバチ利用の注意点

- 日本在来種なので外来生物法の手続きは不要ですが、野外逃亡防止のため、施設開口部にハチ逃亡防止用ネット(4mm目以下)をかみならず設置してください。また、設置したネットに隙間や穴が生じていないかを確認ください。
- 同じ施設内でアグリ・トップ[®]クロマルとセイヨウオオマルハナバチ商品を同時に使用しないでください(両方とも働けなくなります)。
- 紫外線カット率が高い被覆資材を展張した施設では活動しない場合があります。
- 商品使用後は、蒸し込みなどでハチを完全に死滅させてから適正に廃棄してください。

マルハナバチに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について

殺虫・殺ダニ剤

農薬商品名	残効期間
アクタラ顆粒水溶剤	42
アクタラ粒剤5	21
アグリメック	7
アタプロン乳剤	4
アドマイヤー1粒剤	35
アドマイヤー水和剤	30
アニキ乳剤	1
アフーム乳剤	2
アブロード水和剤	1
アルバリン/スタークル顆粒水溶剤	30
アルバリン/スタークル粒剤	30
ウララDF	1
エコピタ液剤	ほとんど影響ない
オルトラン粒剤	30
オレート液剤	1
カウンター乳剤	3
カスケード乳剤	2
クリアザールフロアブル	ほとんど影響ない
コテツフロアブル	9
コルト顆粒水和剤	5
コロマイト(水和剤・乳剤)	3
サフオイル乳剤	乾燥後影響ない
サンマイトフロアブル	4
スターマイトフロアブル	1
スピノエース顆粒水和剤	7
ダニサラバフロアブル	1
ダブルフェースフロアブル	1
チェス(顆粒水和剤・水和剤)	ほとんど影響ない
ディアナSC	3
トリガード液剤	1
トルネードエースDF	6
ニッソラン水和剤	1
粘着くん液剤	乾燥後影響ない
ノーモルト乳剤	1
パイレーツ粒剤	ほとんど影響ない
ハチハチ乳剤	5

農薬商品名	残効期間
バリアード顆粒水和剤	1
BT剤	1
ピラニカEW	1
フェニックス顆粒水和剤	1
プリファード水和剤	ほとんど影響ない
プリロッソ粒剤	1
プレオフロアブル	ほとんど影響ない
プレバソソフロアブル5	1
ベストガード水溶剤	15
ベストガード粒剤	30
ベネビアOD	1
ベリマークSC	1
マイコタール	ほとんど影響ない
マッチ乳剤	3
マトリックフロアブル	1
モスピラン顆粒水溶剤	3
モスピラン粒剤	1
モベントフロアブル	長期間残効する可能性がある

殺菌剤

農薬商品名	残効期間
アフエツフロアブル	1
アミスター20フロアブル	1
アリエッティ水和剤	2
アントラコール顆粒水和剤	1
インプレッションクリア	ほとんど影響ない
イオウフロアブル	乾燥後影響ない
ガッテン乳剤	ほとんど影響ない
ザンプロDMフロアブル	ほとんど影響ない
ダイアメリットDF	1
トリフミン水和剤	1
パンチョTF顆粒水和剤	1
ピクシオDF	ほとんど影響ない
ブリザード水和剤	1
プロパティフロアブル	ほとんど影響ない
モレスタン水和剤	5

●数字は日数を表します。**再導入は残効期間(「日数」×24時間)以上の期間を経たから行ってください。**

●「ほとんど影響ない」と表示した農薬でも、散布後、薬液が乾燥するまでは影響があります。

●表中の残効期間や影響の程度は目安です。農薬散布時の環境(展着剤、温度、天候、紫外線量、換気条件など)によって変化するので注意してください。

●本表は現場情報に基づく弊社の知見をもとに作成しました。

※薬剤を散布する場合は、外箱の開口部(ふた、着地台、確認扉)を元に戻した状態で施設の外に出してください。

2017.11

お問い合わせ・ご注文は

販売元